快汗ウオーキングコース

羽田空港から穴守稲荷神社、羽田神社、川崎大師を経て川崎駅まで歩く半日コース

川崎大師の八角五重塔

●コース距離：10.6km
●歩行時間：約3.5時間

❶羽田空港 第3ターミナル駅
↓1.2km
❷多摩川河口 羽田空港船着場付近
↓1.0km
❸旧穴守稲荷神社大鳥居
↓0.9km
❹穴守稲荷神社
↓1.2km
❺羽田神社
↓0.7km
❻大師橋
↓1.8km
❼川崎大師（平間寺）
↓0.3km
❽大師公園
↓2.5km
❾稲毛神社
↓1.0km
❿JR川崎駅

❾稲毛神社

創建の年代は不詳。社伝によれば、武甕槌神（たけみかつちのかみ）を祀って天皇の軍の戦勝を祈ったことが始まりと伝えられる。当初は祭神の名前から「武甕槌宮」と称していた。明治元年、社名を旧地名の武蔵国稲毛庄にちなんで「川崎大神稲毛神社」とし、明治中頃に「稲毛神社」となった。境内には松尾芭蕉や正岡子規の句碑など川崎にゆかりの深い文人の記念碑がある。

❿JR川崎駅

明治5（1872）年に日本で初めて鉄道が敷かれたときにできた日本で最も古い駅のひとつ。現在はJRの東海道線、京浜東北線、南武線が乗り入れている。東海道線ホームでは「上を向いて歩こう」が発車メロディとして流れる。

❶羽田空港 第3ターミナル駅

羽田空港で国際線が発着する第3旅客ターミナルへの最寄り駅。京浜急行空港線と、東京モノレール羽田空港線が乗り入れている。

❽大師公園

川崎市川崎区にある公園。園内には昭和62（1987）年に川崎市の友好都市である瀋陽市から寄贈された中国庭園「瀋秀園」があり、桜の名所として知られる。野球場、テニスコート、芝生公園、老人いこいの家などの施設もある。

❼川崎大師（平間寺）

川崎大師の名前で親しまれているが正式名称は金剛山平間寺。真言宗智山派の大本山である。大治3（1128）年に建立された。東京都足立区の「西新井大師」、千葉県香取市の「観福寺」と並ぶ関東の厄除け三大師としても有名で、とくに正月は多くの参拝客でにぎわう。

❷多摩川河口 羽田空港船着場付近

羽田空港船着場は多摩川河口から約3km上流に位置し、羽田空港からの水上交通の拠点として平成26（2014）年に開通した。ここからお台場海浜公園と横浜ぶかりさん橋を結ぶ2つのルートがあり、東京湾の遊覧クルージングが楽しめるが、現在は船着場周辺の工事のため運行は行われていない。

❹穴守稲荷神社

羽田は江戸時代中期から開拓が進んだ。当時は塩害や水害に悩まされ続けたが、これらの被害から開拓地を守ってもらいたいと、伊勢神宮外宮から豊受姫命（とようけひめのみこと）を勧請して「穴守稲荷神社」が作られた。“堤防に空く穴がもたらす害から土地を守る”という意味を持つ社名だったが、明治時代になると羽田に温泉が湧き、潮干狩りなども楽しめるようになったため、行楽地としても発展した。その賑わいを背景に京浜電気鉄道（現・京浜急行電鉄）が蒲田からの支線の運用を始めた。

❸旧穴守稲荷神社大鳥居

穴守稲荷神社弁天橋東詰付近にある朱塗りの大鳥居。かつてはこの付近に穴守稲荷神社の社殿が存在していたが、戦後、諸々の事情により取り壊された。しかし門前の大鳥居だけは撤去されず、羽田飛行場の駐車場に残されたままとなっていた。その後、現在の場所に移された。

❻大師橋

多摩川河口近くにかかる橋で産業道路の一部となっており、羽田と川崎をつなぐ。現在の橋は平成19（2007）年に完成した。上り下りとも3車線の2本の橋が架かっている。名前の由来となる川崎大師（平間寺）は直線距離で大師橋の南西約1kmのところにある。

❺羽田神社

戦国時代、蒲田・六郷・羽田～大師河原一帯を領した行方与次郎が牛頭天王社を祀ったことに始まる。江戸時代には、旧羽田村（本羽田）・旧羽田猟師町（羽田）の鎮守であり、徳川家の他、島津家、藤堂家などの崇敬を受けていた。かつては羽田村自性院内に祀られていたが、明治維新の神仏分離により八雲神社として独立、明治40（1907）年に社号を羽田神社と改称した。氏子区域として羽田全域、羽田空港などを含み、航空会社からの崇敬も篤い。